

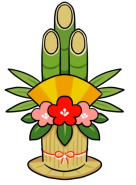


Wilhelm・Conrad・Röntgen
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン
1895年 X線発見

放射線だより

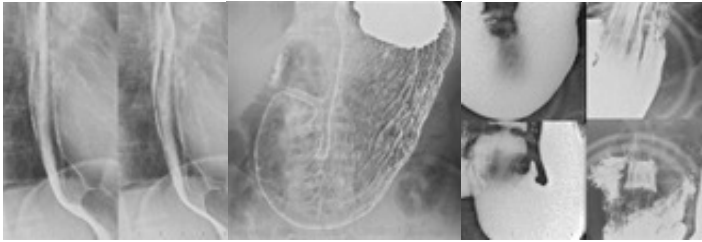
2022年1月
No.10 (毎月発行)
担当：馬場俊明

from Radiation House



上部消化管バリウム検査 (MDL)

当院の検診バリウム検査では、日本消化器がん検診学会が推奨する撮影方法を用いて食道・胃の何処に病気があっても写真に写るよう18枚以上も撮影をします。



Q1 ゲップの我慢が大変です

→出そうな時はツバを飲んで下さい。

Q2 回転するのが大変です

→回転するのは胃の粘膜にバリウムを付着させるためです。この作業で写真の質が飛躍的に向上します。

Q3 動く方向を間違えてしまいます

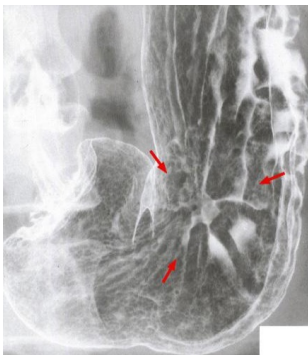
→検査の前に深呼吸・口を動かす・ツバを飲む等を行うと落ち着くと共に、バリウムの誤嚥を防ぐ事が出来ます。

Q4 便秘が心配です

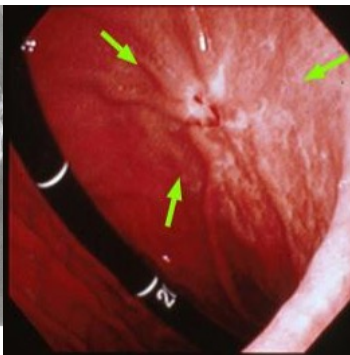
→検査後はコーヒー・アルコール等を避けてこまめに水分摂取しましょう。下剤は摂取した水分量に比例して効果が出ます。心配な場合はご相談下さい。

バリウム検査を行うと全国平均0.16% (約600に1人)の割合で胃がんが見つかります。特に50代以降の方は毎年検診を受けることをお勧めします。

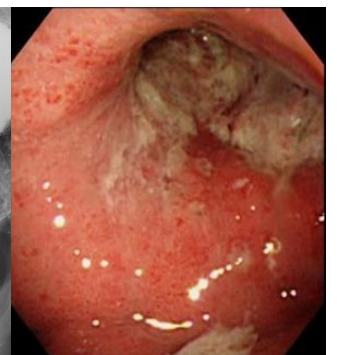
また、検診を受けて結果が「要精査」となりましたら速やかにお近くの医療機関に受診するようにしましょう。



早期胃がんです。胃粘膜ひだが真ん中に向かい集中しています



進行胃がんです。胃の形は変形してしまい、食物の通過障害があります



胃の検査は年に1回です。とても大変ですが、検査へのご理解とご協力をお願いします。また、検査中でも何かあれば遠慮せず担当技師にお声かけ下さい。(文責：田中)

